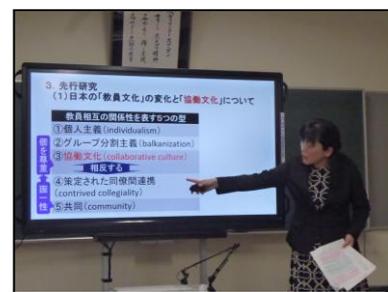


佐賀大学教職大学院 院生ライフレポート



2年間の集大成 ～教職大学院研究成果報告会～

2月9日、佐賀県教育センターにて研究成果報告会が行われました。佐賀大学教職大学院1期生の2年間の研究成果を発表する場です。「教育経営」「授業実践」「子ども支援」の3つの探究コース毎に分科会がもたれました。「どのような問題意識や関心から研究テーマを導き出したのか」「先行研究から得られた知見をもとにどのような実践を行ったのか」「得られた研究の成果と課題はどのようなものだったのか」等を柱に、定められた時間に凝縮され、報告がなされました。教職大学院の特徴の一つに「理論と実践の往還」があり、教育現場での「変革」が求められます。その変革に挑まれた足跡が見える報告会となりました。



【成果発表の様子】

この報告会には、大学関係者以外に、県内外から多くの先生方にも参加いただきました。交わされる質疑応答や識者からの助言を拝聴する中で、我々1年生も大きな学びを得ることができました。1期生ということで様々なご苦勞の中、探究に臨まれた2年間、本当にお疲れ様でした。また、ご参加いただいた皆様、研究をご支援くださった皆様、ありがとうございました。



【1期生 研究成果報告会を終えて】

2期生は、ストレートマスター（以下ストマス）がリーダーとなり、会場準備や分科会の運営等を行いました。1期生の成果報告を聞きながら、これまでの歩みに敬意を表するとともに、来年同じ場に立つということで、身が引き締まる思いがしました。

Q&A

今、教職大学院生は何をしているの？

2月末は集中講義で組織論を学びます。来年度、所属校に戻り変革試行実習に入ります。その準備をしています！（現職教員）

授業実践探究コースでは、2月20日に成果発表がありました。基盤教育実習の成果を来年度の学校課題探究実習に向けて具体的な展望を考えているところです。（ストマス）

研究成果報告会終了後には慰労会を開催しました。研究を進めていく中での出来事の話や、教授からの言葉などもあり、今回の研究成果はたくさんの苦勞の賜物なのだと実感できました。研究以外の会話も弾み楽しい交流となりました。



さて、来年は2期生の番です。現在は研究を深めていくための下準備の段階です。先生方のサポートを力に、未来の学校教育のさらなる進展に向けて研究に没頭しているところです。